



# オンライン授業対策講座



オンライン授業を受講した皆さんへ、  
レポート課題に取り組むためのポイントを解説します。



## ✿ 設問1（要約） について ✿



Q 授業内容の要約って何ですか？

### A 「文章や話の要点を短くまとめる」ことです

今回は、授業内容の要点を短くまとめたものということになります。この授業を受けていない人にも伝わるように言葉で分かりやすく説明する気持ちで考えてみてはどうでしょうか。また、要約文を作成するときには以下の3つの条件を意識すると良いでしょう。

- ① オンライン授業全体の内容が簡潔に含まれていること。
- ② 自分の意見や感想を含まないこと
- ③ オンライン授業の結論部分が含まれていること。



Q 要約してみたけどうまくいきません。  
バランスが変なののでしょうか？

### A 授業内容の構成を意識しましょう

授業内容は大きく、「過程」と「結論」のブロックに分かれます。また、過程のブロックは、さらにいくつかの段落に分かれることが多いです。次の手順のように進めてみてはどうでしょうか？

- ① それぞれのブロックの中心となる部分を見つける。
- ② ①で見つけた中心となる部分を自分の言葉も交えながらつなぎ合わせる。  
この時に元の文章と意味が異なるものにならないように注意。
- ③ 全体の文章の繋がりを確認し、文字数を調整する。

過程ばかりに文字数を取られて結論部分が少なすぎたり、あるいはその逆だったりすると手直しした方が良くかもしれません。文章のバランスは大事なポイントです。そこを意識して読み返してみると文章表現がぐっとレベルアップしますよ。





# オンライン授業対策講座

## \* 設問2（意見文）について \*



Q 設問2（意見文）の書き方が分かりません。

### A 序論、本論、結論の3つのブロックに分けて考えると良いです

序論：問われている内容について、自分の立場や主張を明確に宣言する部分です。なぜ自分はその立場なのか、そう主張するかということ背景や理由も大まかに述べます。

本論：序論で示した主張を、具体例や客観的な根拠、反対意見への反論などを用いて説明する最も重要な部分です。

結論：本論を踏まえて結局何が言えるのかをまとめ、最も伝えたい自分の主張を再度アピールする部分です。本論の簡潔な要約と最終的な自分の主張・立場の提示、さらに必要に応じて今後の展望や課題を述べる場合もあります。序論で述べた主張と食い違わないように注意して下さい。

書き出す際には、まずメモなどに「本論」の部分から整理し、全体像が見えてから「序論」を書くことで論理の破綻を防ぐことができます。文章量の目安としては、序論：本論：結論が1：2：1または1：3：1の比率になると理想的です。



Q 設問2の書き出しが難しいです。どう書けばいいのでしょうか。

### A 「本論」から整理し、「序論」に繋げてみましょう

序論・本論・結論について、『まず「本論」の部分から整理し、全体像が見えてから「序論」を書く』を実践してみましょう。その際の、書き出しの参考例をいくつか簡単に紹介します。

① 疑問型

→ ○○に最も重要なものとは何だろうか。…私は～～だと考える。その理由は…

② 断定型

→ ○○するために最も重要なこととは、～～だと私は考える。その理由は…

③ 経験型

→ 私はこれまでに…などの活動を行い、その経験から○○するためには～～が最も重要だと考えるようになった。その理由は…

これらを参考に自分の書きやすい形を探してみると良いかもしれません。





# オンライン授業対策講座



Q 設問2を書く際には、オンライン動画以外にも自分で調べたものを参考としても良いですか？

A **大丈夫です**

設問2では、オンライン授業に加えて、自分で調べた図書やWebページ等を参考としても構いません。



Q 設問2の意見文には、入学後の意気込みなども書いた方が良いでしょうか？

A **意気込みを含める必要はありません**

意見文には、問2に対するあなたの考えを述べてください。入学後の意気込みなどは含めなくてもよいです。



## \* その他 \*



Q 他にも文章を書くときに気をつけるポイントがありますか？

A **一文の長さ、語尾の統一を意識しましょう**

授業の要約（設問1）、意見文（設問2）どちらにも共通するポイントがあります。

① **一文の長さ**

一文が長くなりすぎないように気をつけましょう。長くなると「主語と述語の関係性が分かりづらくなる」、「文の中で主張がずれていく」などのミスが起きやすくなります。目安として、長くてもレポート用紙の2行以内に収まるようにすると良いでしょう。

② **語尾を統一する**

「～だ。」「～である。」といった常体、もしくは「～です。」「～ます。」といった敬体のいずれかに統一し、これらがレポートの中で混在しないようにしましょう。

他にも以下の様に文章のルールが守られていない場合も減点となる可能性があります。

- ・ 改行、書き出しの一字下げ、句読点の使用など不適切
- ・ 主語と述語が対応していない
- ・ 誤字、脱字





# オンライン授業対策講座

## ＊食物栄養学科レポート課題のポイント＊



Q 設問2「若い世代の野菜摂取量を増やすための工夫」はどのように考えて書いたらよいでしょうか。

### A 以下のポイントを全て含めてください

設問2では、次の①～③の項目をすべて含めて記述してください。

#### ①自分の食生活における野菜摂取の現状を振り返る

授業で扱った「目標〇g」や「1皿〇g」などを参考に、自分はどのような野菜や料理を、どこでどのくらい食べているか考えてみましょう。

#### ②うまくいっている点や課題を整理する

野菜を十分にとれている場合は、その場面や理由を具体的に考えます。

一方で、十分にとれていない場合は、その原因を考えてみましょう。

授業で紹介した理由を参考に、自分の状況に当てはめて考えたり、「うまくいきそう・いかなそう」と感じた取り組みとその理由を整理したりしてみましょう。

#### ③課題を解決する工夫や仕組みを考える

②で整理した課題を踏まえ、無理なく続けられそうな、具体的な「野菜摂取量を増やす工夫」や「仕組み」を考えます。また、友達などにも紹介したいと思える工夫かどうかも意識してみましょう。



Q 「若い世代の野菜摂取量を増やすための工夫」を、自分で考えられるか心配です。

### A まずは「野菜の摂取量を増やすさまざまな取り組み」から

まずは、授業動画で紹介しているWebページなどを参考に、野菜の摂取量を増やすさまざまな取り組みについて知ることから始めましょう。

その中で「これならできるかも」「続けやすそう」など感じた取り組みをヒントにしながら、自分なりのアレンジを考えてみるのもよいでしょう。

